

聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会、研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、研究について詳細にお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データからあなたの情報を削除できませんのでご了承ください。

① 研究課題名	Clinical Benefit of using Multi-Spline Duodecapolar Catheter with Smaller Electrodes and Closer Spacings in Mapping and Ablation for Purkinje-related Ventricular Arrhythmias プルキンエ関連心室性不整脈に対する放射状多極微小電極カテーテルを用いたマッピングが異常プルキンエ電位検出に与える影響の検討		
② 実施予定期間	承認日～2021年3月31日		
③ 対象患者	当院でプルキンエ関連心室性不整脈に対し、PentaRayカテーテルを用いてマッピング、アブレーション治療を行った患者さん		
④ 対象期間	2015年1月1日～2020年3月31日		
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院		
⑥ 対象診療科	循環器内科		
⑦ 研究責任者	氏名	貞松 研二	所属 循環器内科
⑧ 使用する資料等	診療情報より下記事項を調査します。 年齢、性別、基礎心疾患 心電図波形、心内心電図（電位先行度、記録の有無）		
⑨ 研究の概要	九州大学病院を主施設とし、九州大学病院と当院のデータを収集してPentaRayカテーテルが異常プルキンエ電位の検出力改善に關与するかを検証します。		
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑪ 結果の公表	論文等にて発表予定です。		
⑫ 個人情報の保護	個人情報を守るために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて（このことを「匿名化」といいます。）管理します。学会で発表する場合も個人を特定できる情報は使用しません。		
⑬ 知的財産権	九州大学病院及び聖マリア病院に属します。		
⑭ 研究の資金源	特にありません		
⑮ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません		

⑩ データの2次利用	本研究で得られたデータ等の2次利用により新たな研究を行う場合は、改めて研究計画書を作成し、再度研究倫理審査委員会の審査を受けます。	
⑪ 問い合わせ先・相談窓口	聖マリア病院 循環器内科 長岡和宏	
	電話	0942-35-3322